
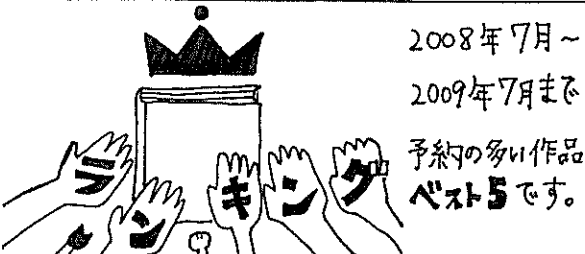


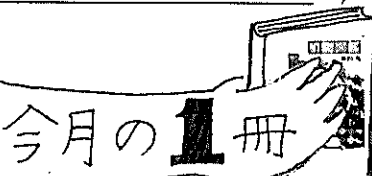
HONTAN

図書館ボランティア「本探」が
旬の図書館情報をお知らせします(笑) 創刊号

坂内館長は
パンギンが大好き

2008年7月~
2009年7月まで
予約の多い作品
ベスト5です。



有川 浩 著
「植物図鑑」
9/3.6/A (近日入荷予定)

順位	書名	著者	予約数
1	ハリリー・ポッターと死の秘宝	J.K. ローリング	上 21件 下 18件
2	告白	湊かたえ	15件
3	流星の絆	東野圭吾	14件
4	聖女の救済	東野圭吾	10件
5	ガリレオの苦悩	東野圭吾	8件

初回は名シリーズが首位、続いて本屋大賞受賞作品
そして3~5位は東野圭吾作品が独占という結果でした。
その他、票はばらけてしまったのですが、有川浩さんの図書館戦争シリーズが合わせて18件でした。こちらも要CHECK

「お嬢さん、良かったら俺を捨ててくださいませんか？ 咬みません、舐めのできた良い子です。こんな台詞につられて、主人公さやかは酔って帰ってきたある日、家の前で行き倒れていた青年を捨てる。野の草花にとっても詳しくて、料理上手の彼の名はイツキ。同居人の彼に連れられ草花を「狩る」うちにさやかは、それまで雑草だと思っていた植物にも、素敵な名前と調理法があることを知る。

♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪

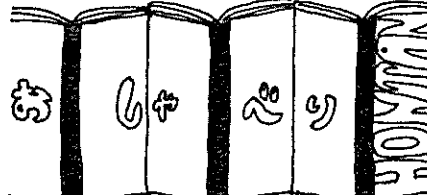
身近にある意外な植物を使った料理の描写(お腹が空いてくるかも)と、2人の生活を追ううちに、普段はあまり気が付かない、誰かに作ってもらった料理の美味しさや、きちんと「いただきます」を言うことの大切さを改めて感じるこのできる一冊です。

HONTAN 花連

HONTAN 12PIECES

HONTANのメンバー12人が、旅に関する本をそれぞれおすすめ。夏の旅行を振り返るもよし、秋の計画をたてるもよし、行ったつもりになるもよし...ぜひ手にとってみて下さい!

<p>おススメ 宮部みゆき 9/3.6/M 「蒲生邸事件」 たとえタイムトラベルでも歴史は決して変えられない事実。そして、読んだ後の爽快感。</p>	<p>おススメ 吉本ばなな 9/3.6/Y 「彼女について」 なつかしい人と一緒に、失われた過去を探しに行く、少しセコたいストーリー。</p>	<p>おススメ N川 江戸川乱歩 9/8.68/E-5 「押絵と旅する男」 名短編!! 遠眼鏡が狂わせた恋。 ~ 憂鬱な様な世界を旅しませんか?</p>
<p>おススメ Anne 鷲津名都江 9/31/W 「マザー・グースをたずねて：英国人の招待」 実際にマザー・グース緑の地を言われた気分になれるかも。</p>	<p>おススメ 花連 伊坂幸太郎 9/3.6/I 「オデュポンの祈り」 男が迷い込んだ、喋るカカシのいる島で起こる奇妙な事件の物語。</p>	<p>おススメ 職責B子 すすきも 29/1.15/S 「さっしろうおさんぽ日和」 旅気分です市内を散策。 素敵なお話をかわいイラストで紹介!!</p>
<p>おススメ とおか 長谷川安宅 9/3.6/H 「ミツメタイ」 置き去りにしてしまった、大セコな言ひ意と出会う物語。</p>	<p>おススメ ちゅん C.S.ルイス 9/33.7/L-3 「朝がらき丸 東の海へ」 叔父の家に預けられた兄弟が、船の絵画の中に入り船の海の旅に出る物語。</p>	<p>おススメ 魚火 土方愛 289/H 「子孫が語る土方歳三」 新撰組で有名な土方氏の子孫が語るエピソードや資料。 これに基づいた旅も面白いかも。</p>
<p>おススメ きゆう 野中ともぞ 9/3.6/N(近入荷) 「リンの鳴る海 緋の舞空」 フリーパーパーの恋人募集お劇で出会った二人が、カリブ海の島で絆を深めていく話。</p>	<p>おススメ とおか 岡田淳 所蔵なし 「扉のむこうの物語」 児童書だけれど結構な量があり、緊迫した展開で誰にでも楽しめるストーリー。</p>	<p>おススメ 卯月 札幌わんぱく探偵団 29/1.15/K 「子どもとできる札幌お宝探検」 子どもと行ける札幌の遊び場を紹介。大人でも行ける場所を、便利な情報と一緒に掲載。</p>



この作家に注目
人気作家について熱く語るコ
ナです。今月号では桜庭一樹さん
について、とおか、卯月、職員B3(B3)、
花蓮、舞がおしゃべりしてみました。

- 北星学園大学にある
桜庭一樹さんの作品
- 『赤朽葉家の伝説』
 - 『荒野』
 - 『オムリーポトレイト』
 - 『赤の男』(2007年下期直横作)
- どの作品も賛否両論でした。
ぜひ、みなさんも挑戦してみてください

とおか: 桜庭作品を語るとなるとは黙っていられません。
私が本格的にはおたは『お砂糖菓子』からでした。

卯月: 『お砂糖菓子』と『オムリーポトレイト』を読みました。
「自分はなんて空虚とした生活を送っているんだろうと
自分について考えさせられました。『お砂糖菓子』の
方は、内容は重たいけど、最後に何かしらの上
があったので爽やかならな。

舞: 『お砂糖菓子』も読んであげ、『赤の男』の方が好き。
時間が交錯しているのが好きなのかな...
『赤の男』みたいた、あんまり読めない作品で他に
ないのかな...?

とおか: 『赤朽葉家の伝説』はそんなに軽い感じの印象
はありませんでした。私は好きでした作品です。

B3: 『荒野』はイマイチだんだけど、『赤の男』は気に入
りました。設定が少女漫画のようで、たけど描
写はその辺のライトノベルより丁寧で上手。大人に
なってきた10代の感、覚っていろいろがリア
ルに書かれてると思う。『赤の男』には絶望があっ
て、好き。人の道を踏
み外した人間の絶望と優越、それと嫌悪す
けいさんみたいな人、なんかかきと書かれていて気

(B2): に入りました。

とおか: 絶望があっ、好きで、同感です。作品を
最後の1行まで読んでから最初の章のことと思
い返すと、やはりな、うな、昔はうな気分
になります。

花蓮: 『荒野』にはあつ、旧で読しました。
桜庭さんって、つかみどころのない、かわい
わした人物や、感情を描くのがすごい
うまいなあと思います。『赤』としての自分の
存在、周りの環境をつがみきれずじりな
がらも、どこか覚めた目を持っている荒野
の姿が印象的でした。

舞: 『荒野』はせくて、苦くないと褒めたい話
だわ。私も好きだわ。って思いました。
もし紫式部や京の女子視点で、編集
のつげまっけのおおきん視点で書かれてた
ら好きだったかも。

とおか: 『荒野』では奈々さんが好きだったわ。
2作品を同じ人が書いたら思えない響
けの違いがあって、そういう夢田の差
を描けるところがまた桜庭さんのすごい
ところだと思います。

HONTAN
展示
みつけ
て

企画展示紹介

おかの教科書に
載ってる文学特集

今回は、小学校、中学校、高校の教科書に載っていた
思い出深い懐かしの作品を展示しました。
『おおきなかぶ』や『ごんきつね』といった絵本から、『こ
ころ』、『羅生門』などの有名文学まで、誰もが知っている作
品ばかりです。改めて読み返すと、授業で習った時とは違
う新たな発見があるかもしれません。
ぜひ、ご覧ください。

企画者: とおか、花蓮、舞

休憩室展示紹介

9月から休憩室掲示板が新しくなりました!! 今回か
らHONTANメンバーが本の帯展示を担当します。初回
は3人のメンバーが割と最近の本のなかから「これ
はおすすめできる!!」と思ったものを3冊ずつ選びま
した。みんな面白かった! と思った本ばかりなので、
読む本に迷ったときはぜひ参考にしてみてくださ
いね!!

企画者: N川、ななちゃん、きゆう

コラム 本の探力

No.1
図書券 AND 図書カードの歴史

図書券が初めて発行されたのは1960
年のこと。当初は20円券×50枚でした。
ちなみに1960年は雑誌誌が1冊130
円程で売られていました。
1995年に100円券の発行が終了し、
2005年10月に図書券の販売は終了し
たのです。
図書カードは1990年12月に販売がス
タートし、図書券に代わって利用されていま
す。金額は500円、1,000円、2,000円、
3,000円、5,000円、10,000円で、図柄には
スタンダードタイプ、印象派、ピエター・ブ
ットの3種類があります。

Pickup
MAGAZINES

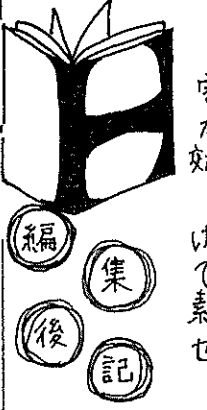
HONTAN
雑誌誌の書評を
紹介

多方面活躍中の半田健人さんが本の紹介者。おすすめの本の1冊
に、『アスダイバー』という本があり、「東京の散歩が楽しい本」と
して紹介されています。普段見慣れている街も、過去の姿を探しな
がらの散歩はひと味違うのだとか。みなさんもこの本を読んで、
裏庭の遺跡を探しに出かけませんか? 舞

→『アスダイバー』中沢新一著(213.6/N)

日経WOMAN 8月号(303号)
50ページ「マニアック読書案内」

日経WOMAN 8月号のこのページ
は、俳優、歌手、コラムニストとして、
は、能優、歌手、コラムニストとして、



「打ち水」ってご存知でしょうか。
家の周りなどに水をまき、それ
が蒸発する際の周囲の熱を奪う
効果により涼をとる...というものです。
暑い夏は打ち水をして、窓を開
け読書——なんていうのも風流
ですわ。風鈴も鳴らしたら、より
素敵な夏をすごせるかもしれま
せんわ。 漁火